

◆飛田給1号踏切道の改善について（検討案）

平成29年1月
街づくり事業課

【現状と課題】



路線名：市道西46号線
延長：12.7m
幅員：6m
踏切名：飛田給1号踏切
交通量：車両 約2,100台
歩行者 約1,800人
駅乗降客数：約25,000人



- 歩行者は、橋上駅舎の公共通路（調布8・6・1号線、幅員9m）を通行する計画であり、平成13年3月に竣工
- 地元住民は、踏切の遮断時間があまり顕著でないことから、踏切を利用
- 駅周辺の地下駐輪場の出入口は、駅北側にあるため、南側の市民は踏切等を横断する必要がある
- 調布3・4・33号線の整備により、南北方向の動線確保に向けた機運が高まる
- 平成27年第4回定例会で、地元より陳情が出され、採択される
(市民の利用実態や東京五輪等の世界的な大会開催を踏まえた対応が必要)
- ラグビーW杯、東京五輪開催に向け、来場者に見合うバリアフリー経路の確保が不可欠

【検討概要】

○基本的な考え方

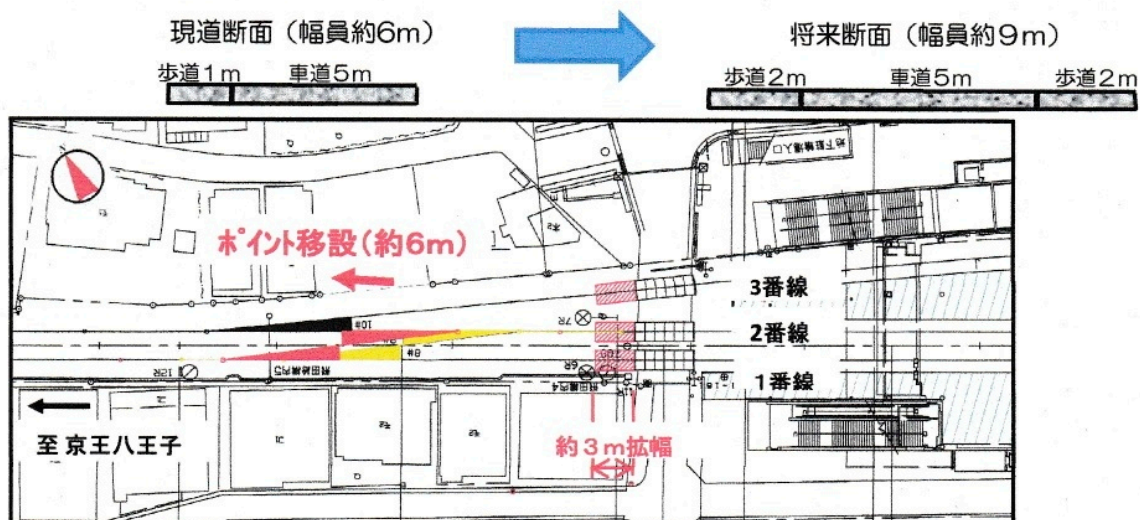
- ・歩行者や自転車の安全な通行空間の確保（通学路の安全対策）
- ・ラグビーW杯までに整備完了を目指すため、用地取得をしない方法により検討
- ・地域の通行動線を確保するため、一方通行化ではなく、歩行空間を充実する方向で検討
- ・地域に負荷が極力及ばないように配慮

○計画案

- ・踏切のポイントを西側に6mずらすことで、総幅員約9mとする案。
- ・事業費は約5億円
- ・概略スケジュール

平成29年度：設計、ケーブル移設工事

平成30年度：分岐器、踏切保安設備及び架線移設工事、信号システム改修工事、踏切拡幅工事



【今後の調整事項】

- 財源の確保（市負担額の圧縮）
- 通学路との調整